

Vol.179

令和7年度5月号

伊豆沼の南岸より雪解けの栗駒山を望む

水生植物園の整備進む

水生植物園では、令和3年度から伊豆沼・内沼の生き物をより安全に、より見やすく観察できるよう再整備を実施しています。令和5年度からは植物園内を複数のエリアに分け、それぞれの環境に適した生き物を増やしつつ、解説看板の充実を図るといった整備を行っています。これからの水生植物園は多様な動植物が次々に見頃を迎えますので、是非ご来園ください。

園内では多様な動植物
を見ることができます。

水生植物園
案内図

アサザの花(7月)

水生植物復元エリア

ミズアオイの花(9月)

水辺の多様性エリア

造成湿地

給餌池

ハスの花(8月)

伊豆沼環境の再現エリア

カキツバタの花(6月)

湿原再生エリア

アサの産卵(5月)

エコトーンエリア

凡例

観察用棧橋

散策路

ベンチ

ドック

看板

バス・バスターズ

長年にわたり多くの企業や高校生、皆様のご協力により実施している「バス・バスターズ」の活動を今年も開催いたします。この活動の成果によりオオクチバスの個体数は大きく減少しております。今後もより安定した状態を得るには、この活動を継続することが重要となっています。



昨年のバス・バスターズ活動風景

バス・バスターズに参加しませんか

詳細は下記URLかQRコードから
http://izunuma.org/2_3.html



電気ショッカーボート



電気ショッカーボートによる駆除風景

当財団では、4月下旬から6月下旬までの間、電気ショッカーボートによる外来魚（オオクチバス、ブルーギル等）の駆除を行います。実施するのは主に火曜日、金曜日となります。

この駆除活動により、伊豆沼・内沼の在来種であるモツゴやタモロコなどの個体数は増加しています。

(株)伊藤園様から伊豆沼・内沼へ企業版ふるさと納税



宮城県庁での贈呈式の様子

昨年10月、水生植物園で一般公募した皆さんと環境保全活動をしていただいた(株)伊藤園様から、「お〜いお茶!」の売り上げの一部を、伊豆沼・内沼自然再生事業へ活用してほしいと、宮城県に対し65万円の企業版ふるさと納税がありました。この企業版ふるさと納税は、来年度以降、伊豆沼・内沼自然再生事業に活用されます。

3月21日(金)に贈呈式が県庁で開催され、理事長も参加しました。(株)伊藤園様には、本年10月にも保全活動を行っていただく予定です。

伊豆沼・内沼生き物図鑑 ～スズガモ～

4月12日、50羽ほどのスズガモの群れが伊豆沼で見られました。スズガモは冬鳥として飛来し、波の静かな内湾や河口などで大きな群れを作って暮らしています。潜水して貝類などを採食します。海にいるカモで、伊豆沼ではほとんど見られませんが、春や秋の渡り途中には、今回のように、まとまった群れが立ち寄ることがあります。



スズガモの群れ。お腹が白色なのがオス、全身黒色がメス

